

EQUAL

多調整型 ROAD ペダル

ユーザーマニュアル

v1_202403

⚠ 重要なお知らせ

- ・自転車の専門知識がない方は部品を取り付けしないでください。作業に不安のある方は専門店やプロショップなどに作業を依頼してください。
- ・記載されている内容に不明点がある場合は作業をしないでください。購入された販売店へご相談ください。
- ・本製品の製造不良以外の要因により、本製品の取り付けによって生じた本製品以外の破損ならびに使用中に発生した事故による損害、怪我などについて、当社は一切の責任を負いません。(要因には取り付け不良、メンテナンス不足なども含む)
- ・本製品の設計や特徴に関するコンセプト&データを弊社ウェブサイトで公開しています。製品を使用する前にご一読することをおすすめします。
- ・販売店様など自転車に関する専門知識を有する方向けのディーラーマニュアルは弊社ウェブサイトで公開しています。

安全のため、必ずこのユーザーマニュアルをよくお読みの上、製品の取り付け作業や使用するようしてください。

⚠ 注意・警告

【警告】

- ・製品を取り付ける際は、必ずユーザーマニュアルの指示に従い取り付けを行ってください。
- ・指定クリート以外を使用すると、事故の原因につながりますので使用しないでください。
- ・クリート、ボディー、爪の摩耗を定期的に確認し、適切なタイミングで交換してください。
- ・スピンドル取り付けネジは緩みが生じやすいので、乗車前に緩みが無いか点検してください。
- ・初めて利用する際は、自転車が停止した状態で、片ずつ装着と脱着の練習を行ってください。
- ・クリートの固定力をご自身の使用に適した強さに調整を行ってください。弱すぎても、強すぎても転倒する恐れがあります。

【注意】

- ・本製品はオフロード用ではありません。クリートやペダルに泥などが付着した場合、取り除いてからご使用ください。
- ・乗車前に、各ネジ部、スピンドル、爪、クランク取り付け部などにガタや緩みが無いか確認してください。
- ・走行中に異常を感じた場合は走行をやめ、安全な場所で点検を行ってください。
- ・取り付けや調整に不明な点があるときは、お買い上げの販売店へお尋ねください。

1. はじめに

本製品は一般的なビンディングペダルにはないコンセプト、機能が搭載されています。

製品を使用する前にコンセプト&データをお読みください。

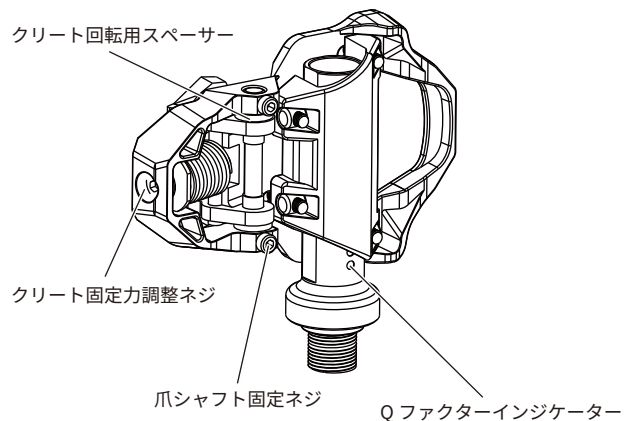
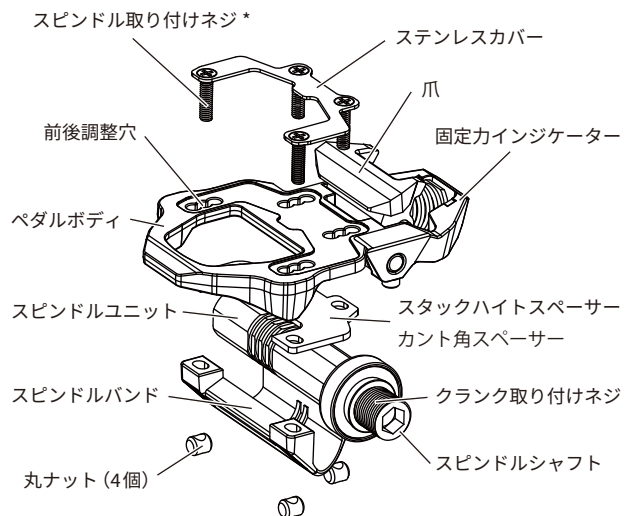


多調整型 ROAD ペダル ドキュメント
<https://growtac.com/products/equal-multi-adjustable-road-pedal/>

2. 製品仕様

・前後調整幅	0mm, +4mm, -4mm
・回転調整角度	0°, 右 2°, 左 2°
・Q ファクター	0 (52mm), +4mm (56mm), -4mm (48mm)
・スタックハイト	13.5 ~ 22mm 程度
・カント角	-4° ~ +4° (0.5°刻み)
・対応クリート	シマノ製ロード用クリート(赤色 / 黄色 / 青色)

3. 各部名称



* 出荷時は調整専用のネジが組み付けられています。調整終了後は付属の緩み止め付のネジに交換してください。

4. 内容物一覧

不足がある場合、お手数ですが support@growtac.com へご連絡ください。

・ROAD ペダル本体(右+左)	1式
・スタックハイトスペーサー(1mm)	8枚
	(本体に2枚組込)
・カント角スペーサー(0.5°)	2枚
・カント角スペーサー(1°)	4枚
・16mm スピンドル取り付けネジ(緩み止め付)	8本
・20mm スピンドル取り付けネジ(緩み止め付)	8本

5. 使用工具一覧

- ・六角レンチ 2.5mm/3mm/8mm
- ・プラスドライバー(#2)

6. クランクへの取り付け方法

- I. クランク取り付けネジ部へグリスを塗布します。
- II. クランクにペダルを取り付けます (8mm 六角レンチ指定トルク 30Nm)。
右ペダルは右ネジ(時計回転で締まる)。
左ペダルは左ネジ(反時計回転で締まる)。

7. スピンドルユニットの脱着方法

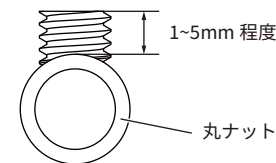
スピンドルユニットの脱着作業はQ ファクター、カント角、スタックハイト、前後位置調整の共通作業となります。

【スピンドル取り付けネジに関する注意事項】

出荷時に取り付けられている「スピンドル取り付けネジ」は緩み止めが無い”調整用”です。調整終了後に付属の「緩み止め付のネジ」に交換してください。
ネジ長さはネジ締め付け後、丸ナットから 1 ~ 5mm 程度出る長さを選択ください。

[目安]

- 1mm スペーサー 1~2 枚: 16mm スピンドル取り付けネジ
- 1mm スペーサー 3~5 枚: 20mm スピンドル取り付けネジ

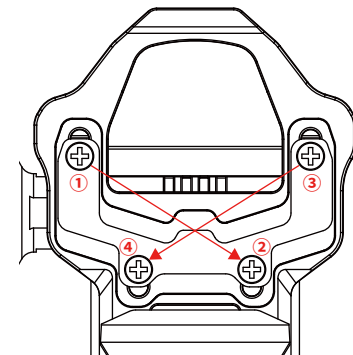


7-1. スピンドルユニットの取り外し方

プラスドライバー (#2) で4本のスピンドル取り付けネジを均等に緩めてから取り外します。丸ナットが紛失し易いので気を付けてください。

7-2. スピンドルユニットの取り付け方

- I. スピンドルユニットをスピンドルバンドにはめ込みます。
はめ込み位置は「8.Q ファクターの変更方法」を参考にしてください。
- II. ステンレスカバーにスピンドル取り付けネジを挿入します。
- III. ペダルボディーの前後調整穴 +4mm, 0mm, -4mm のいずれかにネジを挿入します。
穴の位置は「10. 前後位置の変更方法」を参考にしてください。
- IV. 「9. カント角、スタックハイトの変更方法」を参考に、各スペーサーをネジに挿入します。* スペーサーは最低 1 枚は組み付けてください。
- V. I で組み立てたスピンドルユニットにネジを通し、最後に丸ナットで固定します。
ネジの締め付け順は下図を参考に均等に締め付けます。(指定トルク 1 ~ 1.5Nm)

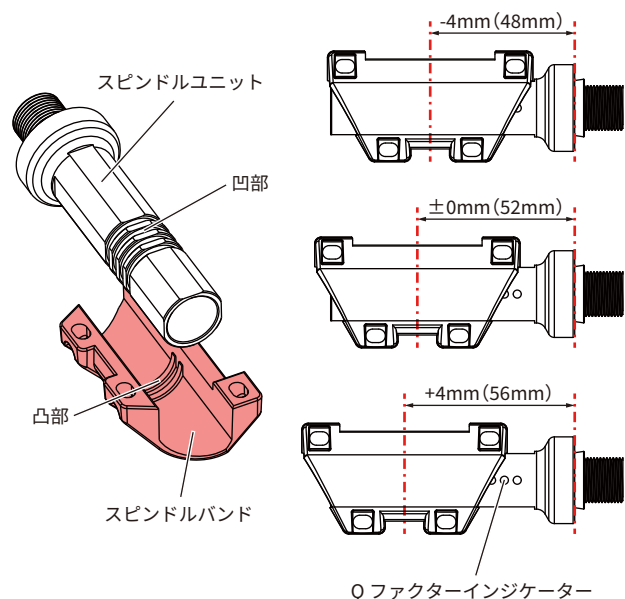


8. Qファクターの変更方法

スピンドルユニットの取り付け位置を変更することで、Qファクターを±4mm 変更出来ます。

より細かい調整はクリート位置で調整してください。

- I. 「7. スピンドルユニットの脱着方法」を参考にスピンドルユニットを取り外します。
- II. スピンドルユニットの凹部とスピンドルバンドの凸部を希望の Q ファクターになるように下図を参考に勘合します。
- III. 「7. スピンドルユニットの脱着方法」を参考にスピンドルユニットを取り付けます。



9. カント角、スタックハイトの変更方法

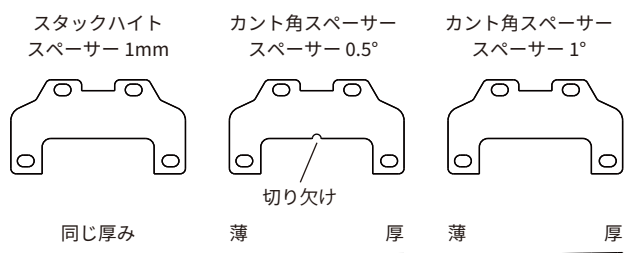
スピンドルユニットとペダルボディの間にスペーサーを取り付けることで、カント角、スタックハイトの調整が出来ます。

- I. 「7. スピンドルユニットの脱着方法」を参考にスピンドルユニットを取り外します。
- II. 必要なカント角スペーサー、スタックハイトスペーサーをスピンドルユニットとペダルボディの間に取りつけ、スピンドルユニットを取り付けます。「7. スピンドルユニットの脱着方法」を参考。

【スペーサー最大量について】

カント角スペーサーは合計 4 度まで。カント角スペーサーとスタックハイトスペーサーの混在は可能ですが、合計の厚みが 10mm まで。または、使用するスピンドル取り付けネジ長さに合わせた厚みまでです。同梱のスペーサーで足りない場合はオプションのスペーサーセットをお求めください。

【各スペーサーの見分け方】

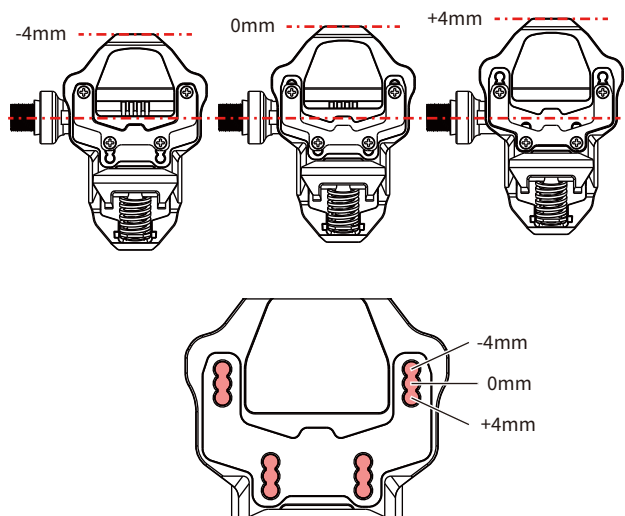


10. 前後位置の変更方法

ペダルボディの前後調整穴の取り付け位置を変更することで、前後に±4mm ペダルボディの位置を変更出来ます。

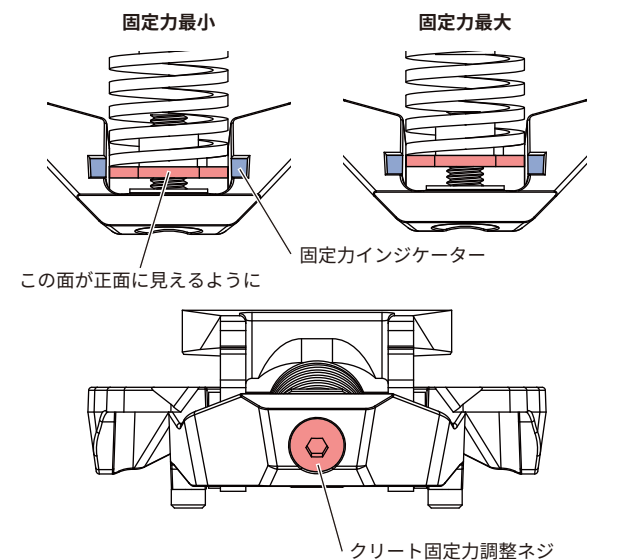
より細かい調整はクリート位置で調整してください。つま先側にクリートを取り付けたい、踵寄りに取り付けたい、といった場合の機能になります。

- I. 「7. スピンドルユニットの脱着方法」を参考にスピンドルユニットを取り外します。
- II. 「7. スピンドルユニットの脱着方法」を参考に組み立てます。組み立て時、スピンドル取り付けネジを3つの前後調整穴のいずれかに通すことでペダルボディ位置を調整出来ます。



11. クリート固定力の調整

クリート固定力調整ネジを回すことで固定力を調整出来ます。固定力を変更した場合は、自転車が停止した状態で片足ずつ脱着して確認を行ってください。固定力インジケータの範囲を超えないようにしてください。転倒の原因になります。

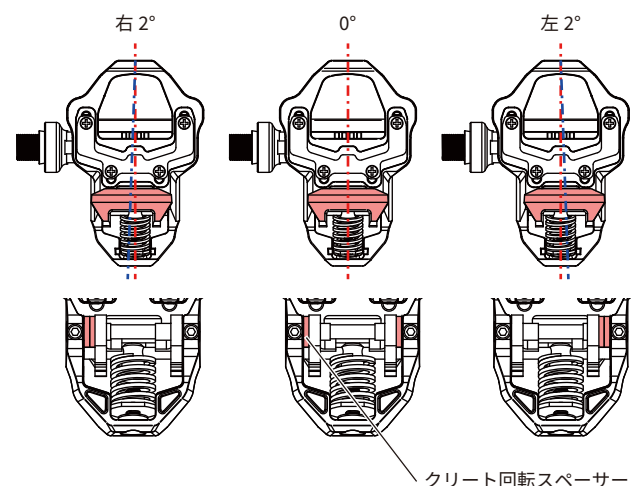


12. 回転方向の変更方法

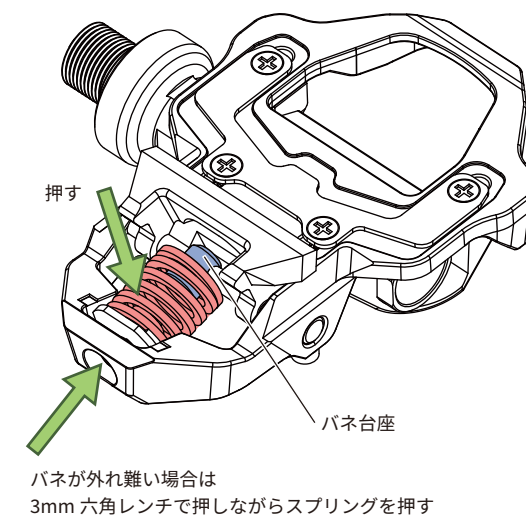
クリートの回転方向の調整幅が不足した場合、爪を左右に動かすことでクリートの回転方向の調整幅を2°増すことが可能です。

より細かい調整はクリート位置で調整してください。

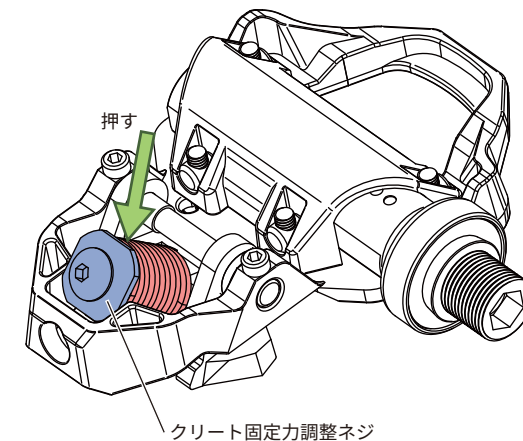
- I. クリート固定力調整ネジを最弱にします (11. クリート固定力調整 参照)
- II. 図を参考にスプリングを取り外します
- III. 爪シャフト固定ネジを取り外します (2.5mm 六角レンチ)
- IV. 爪シャフトを抜き取ります
- V. クリート回転スペーサーを希望の角度になるように下図を参考に組み付けながら爪シャフトを組み付けます。
- VI. 爪シャフト固定ネジを取り付けます (指定トルク 0.5Nm)
- VII. スプリングに「バネ台座」と「クリート固定力調整ネジ」を差し込み、図を参考にスプリングを押し込み本体に嵌め込みます。
- VIII. クリート固定力調整ネジを再調整します (11. クリート固定力調整 参照)



スプリングの取り外し



スプリングの取り付け



13. 乗車前の日常点検

乗車前には以下の項目を必ず確認してください。異常があった場合は調整や交換を行うか、販売店などにご相談ください。

- ・スピンドル取り付けネジに緩みがないこと
- ・爪シャフト固定ネジに緩みがないこと
- ・スピンドルシャフトにガタなく、スムーズに回転すること

さらに詳しく

ディーラーマニュアルなどの各種ドキュメントやFAQはこちら



お問い合わせ

お問い合わせフォームはこちら



その他製品

GROWTAC のウェブサイトをこちら

